

No.	11	分類	3-(2)-イ	資料名	生き物引っ越し大作戦 ～「トライやる」の活動が河川工事を変えた～	学年	2年	領域	総合的な学習の時間
-----	----	----	---------	-----	-------------------------------------	----	----	----	-----------

1 ねらい

- 地域社会の一員としての自覚をもち、地域の人々とのよりよい関係づくりに努力し、力を合わせて自分たちの町を発展させていこうとする意欲や態度を身につける。

2 趣旨

- 本資料は、「トライやる・ウィーク」で生き物調査をし、議会で河川工事の計画について意見を述べ、計画の変更が実現したという事例を紹介している。
- 中学生が地域や地域の人々を守る存在になれることを感じ、自分たちも地域の活動に進んで参加しようとする意欲を育てたい。

3 配慮事項

- 大学の先生や町内会、保護者などの方々の協力を得ながら、生徒の考えや行動により、社会を変えていく可能性があることを理解させたい。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 中学生の活動や気持ちの変化について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">環境・生物調査をしながら、何を感じたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物のことが分かって楽しかった。 ・自分たちの町の川は希少生物がいる豊かな川であることが分かった。 ・この自然を残したいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「トライやる・ウィーク」での活動を通して、気がつかなかった自分たちの住む町の良さを認識したことに気づかせる。 ・町内会の人々や仲間とともに行った活動であるからこそ、なお興味がわいたことも認識させたい。
<p>2 初めての意見陳述をする中学生たちの気持ちを考える。</p> <p style="text-align: center;">初めての意見陳述を前にどんなことを思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果や意見がうまく伝えられるかな。 ・自分たちの提案が実現すればうれしいな。 ・中学生の自分たちの言うことだから、おそらく実現しないだろうな。 ○中学生たちは、工事の変更の決定を聞いて、どう思ったか、意見を出し合う。 ・提案が採用されてうれしい。 ・中学生の提案が採用されて驚きだ。 ・この活動をもっと一生懸命やっていきたい。 ・自分たちの意見が通ったのだから責任が重大だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの思いの実現のために一生懸命であったことを認識させたい。 ・実現はしたいけれど、無理だろうと考えていたことも想像させたい。 ・意見が通ったことに対する驚きや喜び、またそのことによって感じた責任感やさらなる活動の意欲について共感させたい。
<p>3 この町のすばらしさについて考える。</p> <p style="text-align: center;">この町のすばらしさは何だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が環境の変化を心配する声をあげている。 ・その声に対して中学生が調査し、行動を起こしている。 ・中学生の提案を真剣に受け入れ、実現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この町のすばらしさを挙げながら、それぞれについて自分たちの行動を振り返らせたい。
<p>4 自分たちの町をよくするためにできることを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動の基盤には、地域の人々の信頼関係や協力体制が必要であることを認識させる。

5 参考

- 本資料は、加古川市尾上町養田地区の取組を参考に作成したものである。